

平成26年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

施設名	大和市鶴間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター鶴間会館管理運営委員会 会長 瀬沼 元治
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
鶴間	180	3,423	722	302	4,627	15.1	306

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
春の工作（するするのぼる人形）	4/17～30	9人
母の日プレゼント工作（デコパージュプレート）	4/30～5/9	36人
父の日プレゼント工作（テーブルライト）	6/6～15	25人
七夕の集い（手品・笹飾り作り）	6/29	48人
夏休み工作（タオルでつくるうさぎ）	7/30～8/23	25人
夏休み共同工作（30周年タイルアート）	8/7～8/20	25人
避難訓練	8/23・2/5	10人・8人
敬老の日工作（宝箱作り）	9/2～20	15人
ふれあい広場（鶴間地区・南林間地区）	11/2・11/30	200人・200人
クリスマス会	12/6	176人
書初め（書道サークル・指導ボランティア）	1/6	7人
節分工作（おにのポシェット）	1/21～2/7	3人
冬の工作（アイロンビーズ）	1/31～2/28	27人
春の工作（プラバン）	3/17～31	36人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の 給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,367,724
雑入 (預金利息等)	124	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施 のために支出した金額)	100,215
収入計 (①)	2,514,124	支出計 (②)	2,467,939
収支決算	46,185		

※収支差額 46,185 円は、平成 27 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 27 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 26 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・施設の使用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。
- ・利用者アンケートでは、スタッフの対応については、回答者の 94.1% (前年：100.0%) が「よい」～「ふつう」との結果が出ており、前年と比較して減少しているものの高水準を維持していることは高く評価します。一方で、週に 1 回以上児童館に来る方が回答者の 38.2% (前年：22.0%) との結果が出ていることについて、リピート率を向上させたことも評価します。
- ・児童館利用の人数が前年度比 93.9% と減少しているため、今後は利用者増加に向けた具体的な取り組みについて、検討を行ってください。
- ・昨年度はアンケートの回収率が 100.0% でしたが、今年度は 68.0% と大幅に減少しています。利用者の意見を聴取し今後の運営の参考とすることを踏まえ、回収率の向上に努められることを望みます。

評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。
- ・特に卓球大会やクリスマス会では、地域の中学生が準備や進行等に関わることで異学年間の交流を図ろうと工夫している点は高く評価します。
- ・また、近隣小中学校のまち探検や施設見学、職場体験学習に協力し、地域の青少年健全育成に貢献している点も評価します。
- ・今後も他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、更なる地域での青少年健全育成と利用者の増加を図ってください。

評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。

評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。
- ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。